



サザンクロス

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構は、高度技術産業の集積による新事業創出を導く、東北のサザンクロス(南十字星)となることを目指します。

●編集発行
公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
〒963-0115 福島県郡山市南2丁目52番地 ビッグパレットふくしま3階
TEL (024) 947-4400 FAX (024) 947-4475



郡山地域テクノポリス推進機構 紹介

- 郡山地域テクノポリス推進機構
～ものづくり企業を応援します～ ……P02

新事業創出育成

- 起業化支援
ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営 ……P03
- 新製品開発から事業化までを支援
1 令和元年度 各種助成事業 ……P04
2 日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)
郡山サテライトの開設 ……P04

人材育成・研究開発促進

- 産学官連携による人材育成
「Meister's College(マイスターズ・カレッジ) 2018」 ……P05
ちびっ子マイスターズ・カレッジ2018
ロボット動かし隊! ……P06
中学生向け医工連携人材育成事業
“医療の道を歩む、未来への第一歩” ……P06
- 研究開発・事業化支援
平成30年度 産学連携コーディネート業務 ……P07

起業家育成・起業化支援

- 企業連携の促進
郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議 ……P08
研究開発推進部会
— 3フォーラムの開催 — ……P10
須賀川方部アドホック研究会 ……P11
- ICTを活用した産業の振興
郡山オープンイノベーション(KOI)会議 ……P11
- 受発注機会の創出
ICTを活用した商談会(Linkers) ……P11

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

- ICT交流事業 ……P12
- 情報化人材育成・研修事業 ……P12
- ICT高度利用推進事業 ……P13
- 総会・監査会・ボードメンバー会議 ……P13
- 令和元年度の主な事業・イベント ……P13

イベントへの出展

- ……P13

テクノインフォメーション

- 平成30年度 理事会等の開催報告 ……P14
- 令和元年度の主な事業・イベント ……P14
- 役員・職員等の紹介 ……P15

こあいさつ

「産業支援機関として」

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長 滝田康雄 …… P01

産業支援機関として

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

理事長 滝田 康雄



東日本大震災及び原子力災害から8年が経過し、圏域内では、産総研「福島再生可能エネルギー研究所」をはじめ「ふくしま医療機器開発支援センター」など新しい産業の創出につながる研究機関、産業支援機関が立地し、さらには、インフラや交通体系の整備も進められ、新事業・新産業創出の適地として本県を牽引する地域として期待されております。

昨年、郡山商工会議所では「10年後、20年後の未来を描いたグランドデザイン」を策定しました。若者たちがプロジェクトを立ち上げ、若者たちに夢や希望の持てる郡山を引き継ぐための提言がなされたので、産業振興の一翼を担う当機構としましても、その実現のため一層努力をして参ります。

当機構の設立原点は「ものづくり企業への支援を通じた福島県産業の振興」であり、今年度も当機構の特徴、強みを活かして積極的に事業を展開して参ります。

一つには、「郡山地域ものづくりインキュベーションセンター」を核とした起業支援です。

平成18年に日本大学工学部の敷地内に設置以来多くの企業にご利用いただき、新製品開発や新分野進出のために活用されております。

現在の入居企業は、輸送用機器や医療機器、ロボット、ICT関連の企業など11社となっております。

今後とも、「ものづくり関連企業」に特化したインキュベーション施設として、大学等と連携し新製品の研究開発をする『場』と、試作品づくりのための『設備』を活用いただき、経営・技術面からの『人材』支援、そして、研究開発の成果を広く発表する『機会』を提供し、企業支援を積極的に図ってまいります。

二つには、技術コーディネーターによる支援であります。大手、中小製造業経験者による現場感覚の支援が企業訪問件数の増加につながり、受発注案件などの

様々な相談増に加え、新製品づくりのため企業と大学等との連携、企業と企業の連携案件も具体的に進展するなど、大きな強みを発揮しております。今後も、関係機関と連携しマンパワーを活かした支援に力を注いでまいります。

三つには、産学金官連携による支援であります。連携の実を上げるには、そのとりまとめ役となる存在が必要です。「新事業創出」や「人材育成・研究開発促進」、「起業化支援」などの業務推進にあたって、連携のとりまとめを率先して担うことで、様々な案件が着実に進展するよう引き続き努めてまいります。

また、昨年度新規に取り組んだロボット産業振興について申し上げます。

ものづくりインキュベーションセンターを活用し、製造業現場で利用増が見込まれる協働ロボットを中心に実機数種を展示し生産現場の省力化等の相談会を設けましたところ、多くの企業にご参加いただき、一定の成果を得ることができました。

今年度も継続企画として、特に今後ロボット利用増が見込まれる食料品製造現場に着目したロボットを含む生産工程を展示し、より現場に即した内容としたと考えております。

生産省力化・効率化、労働力不足解決の一助として、ロボットをどう活用できるかに取り組んで参りますので、関係の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

当機構の運営は、基本財産運用益の活用が基本になりますが、今後とも厳しい状況が予想されます。選択と集中による効率的組織運営は勿論のこと、関係機関の企業支援策も活用させていただきながら、産業界から必要とされる機構であり続けるための仕事をしておりますので、関係の皆様のお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

郡山地域 テクノポリス 推進機構

ものづくり企業を
応援します

こんな考えをお持ちの企業の皆様、是非当機構をご利用ください。

新分野に
挑戦したい

人材の育成を
したい

技術相談を
したい

取引を
広げたい

など

当機構
沿革

1986年(昭和61年)3月に、福島県、テクノポリス圏域6市町村(郡山市、須賀川市、鏡石町、玉川村、石川町、三春町)、圏域企業の基金造成(約15億円)により設立。

令和元年度の主な事業

1 ものづくりインキュベーションセンター運営(新事業創出育成事業)

- 重点事項** (1) 研究開発の
「場」・「設備」・「機会」・「人材」による支援 …………… P3
※入居企業11社(平成31年4月1日)



2 人材育成・研究開発促進(技術振興事業)

- 重点事項** (1) 産学官連携による人材育成 …………… P5~6
- ① マイスターズ・カレッジ(中核ものづくり人材育成)
【講師】日本大学工学部、県立テクノアカデミー郡山 他
 - ② 小中学生向けマイスターズ・カレッジ
- (1) 研究開発・事業化支援 …………… P7
- ① 技術コーディネーターによる企業訪問、技術相談、連携促進
 - ② 大学や産業支援機関等との連携



3 起業化支援(地域技術起業化推進事業)

- 重点事項** (1) アライアンス(企業連携)の促進 …………… P8
- ① 3フォーラムの運営

サステナブル 地域づくり	健康医療福祉 産業創生	ロボット テクノロジー
-----------------	----------------	----------------

 (コーディネーター:日本大学工学部教授)
- (2) ICTを核とした産業振興 …………… P11
- ① 郡山オープンイノベーション会議(会津大学、郡山市、当機構の三者連携協定)



郡山ロボットラボ

郡山テクノポリス戦略的アライアンス形成会議事業として昨年度に引き続き実施する。今年度は特に、食料品製造現場での利用を想定した内容とする。

- 【日 程】令和元年10月頃
【場 所】ものづくりインキュベーションセンター
【内 容】産業用ロボット実機を含む製造設備



広 報

- 機関誌「サザンクロス」(年1回)、テクノポリスだより(毎月発行)
- ウェブサイト、メールマガジン
- 各種展示会等への出展

起業化支援

ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営



ものづくりインキュベーションセンター建物外観

当機構は、国、福島県、郡山市、日本大学工学部等の助成を受け、平成18年8月に「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」を日本大学工学部キャンパス内に建設し、その運営・管理と関係機関との連携を行っています。

当センターは、「ものづくり」による新たな産業の創出を促進するための支援施設で、企業支援室[11室]のほか、研究開発による試作品を製作するための工作機械を備えた「試作センター」や40人収容可能な「会議室」を設置しています。

また、研究開発・事業化支援のための専門家を配置し、様々なサポートをハード・ソフトの両面から提供するとともに、郡山地域を中心とした大学等の知的財産や産業支援ネットワークを活用し、入居者の要望に応じて、技術シーズの事業化を支援しています。

支援メニュー

研究開発による新製品の創出、起業化・事業化の成功率を高めるため、試作品等を設計・製作する「**場**」、試作に必要な基本的「**設備**」、及び技術のハード/ソフト両面で支援・コーディネートする「**人材**」、そして入居者による研究開発の成果を広く発表する「**機会**」を提供します。



■ 起業支援室(実験室タイプ)



■ 起業支援室(事務室タイプ)



■ 試作センター



■ 成果品展示コーナー

場

研究開発の拠点として、低廉な料金で入居でき、24時間365日利用可能な**起業支援室**[実験室タイプ(2室)/事務室タイプ(9室)]、**試作センター**や**会議室**、**展示コーナー**を設置しています。

設備

「試作センター」には試作品等の製作に必要な各種工作機械や高精度立体加工用マシニングセンタ等を、「会議室」には映像/音響設備等を備えています。

機会

入居者等の研究開発事業の成果を金融機関やマスコミ等に広く周知し、起業化・事業化を支援するための「**成果発表会の開催**」や「**展示コーナー**」に**成果品展示**などの機会を提供します。

人材

- ・インキュベーションマネージャーによる入居者等への研究開発・事業化支援や、専門家を配置し様々なサポートをハード・ソフトの両面から提供するとともに、郡山地域を中心とした大学の知的財産や産業支援ネットワークを活用して入居者等の要望に応じて、技術シーズの事業化を支援しています。
- ・管理員・技術コーディネーターによる当施設の管理、研究開発/技術の起業化に係る支援事業へのコーディネート、研究会やセミナーの開催、大学や公設試験研究機関等の研究者との連携や郡山テクノポリス圏域企業によるアライアンス(企業間連携)形成への支援をします。

展示コーナー

のご案内

当施設1階にある「展示コーナー」に、入居企業・卒業企業の研究成果品を展示しておりますので、ぜひご覧ください。

■ バスケットワイヤーカテーテル (株)アイアールメディカル工房		
■ MT-LINEレトラクターシステム (株)マイステック	■ アルミニウム燃料電池 (一次電池 試作品) (株)プロトンシステム	■ D-haT(ディーハット) 試作第一号 (株)国際情報ネット
■ バイオマスガスステーションメタン分解装置(改質器) (株)SAISEI LLC	■ 睡眠センサー (センサーネットワーク用ホームゲートウェイ) (株)テレジャパン (卒業企業)	■ 医療針状把持鉗子 (株)ニチオン (卒業企業)
■ かため太郎 [一液湿気硬化型エポキシ樹脂系簡易補修材] オバナヤ・セメントックス(株) (卒業企業)	■ メカブビューティー [サプリメントの錠剤化] (株)メディファム (卒業企業)	■ 生キャラメル (株)向山製作所 (卒業企業)
■ 乳がんチェッカー (株)タウザー研究所 (卒業企業)	■ 聴覚感度ヘッドホン (株)タウザー研究所 (卒業企業)	■ 個人用ダンボール防音室「だんぼっち」 神田産業(株) (卒業企業)

入居者紹介(平成31年4月現在)

起業支援 室No.	入居企業名	業種等	本社	入居日	主な研究開発テーマ	会社PR
1	株式会社 アスター 代表取締役 本郷 武延	産業機械装置の 開発・製造業	横手市	平成29年 4月1日	高効率モーターコイルの研究開発	常に新しい発想。常に最上の品質追求。未来を 創る企業として、確かな技術と工程管理で高 品質の製品をお客様に提供します。
2	株式会社アールメディカル工房 代表取締役 河邊 大輔	医療機器製造販売業	郡山市	平成30年 3月1日	血管内治療用カテーテル製造事業	既に特許を取得している2つの革新的技術で、 福島県、世界に通用する医療機器の開発を目 指します。
3	AT-OS(オットス)JAPAN株式会社 代表取締役 木村 哲章	医療用機、医療用具の輸出 入・開発・設計・製造及び販 売並びに保守	郡山市	平成30年 9月1日	国産ベットバン洗浄・消毒装置の研究・開発・ 製造	イタリアンデザインと日本品質を融合した新 しいディスプレイテクノロジーの研究・開 発に取り組んでいきます。
4	株式会社Social Area Networks 代表取締役 森田 高明	IoT機器製造販売	世田谷区	平成30年 3月1日	「コミュニケーションで繋がるFiOT(Feeling Internet of Things)研究開発」LPWAを ベースとした機器の研究・設計・開発	町・社会・サークルなどの様々なコミュニティが独自ネットワークを作り、 ネットワーク上のサービスを生み出し充実させていくことで、今までに無い イノベーションとなり人々の生活を豊かにすることを目指します。
5	株式会社マイステップ 代表取締役 金井 しのぶ	医療機器製造販売業	郡山市	平成28年 7月11日	脊椎手術用開創器システムの 開発から事業化	Made in Japanによる手術器械の開発と ブランド化を目指しています。
6	株式会社マルマス 代表取締役 生亀 慎吾	製造業、製造商社	郡山市	平成30年 3月1日	新素材の活用方法の確立と拡大	Made in Fukushimaによる製品の開発。福 島県の製造加工技術を絶やすことなく、誇り の持てる商品開発を目指しています。
7	福島コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長 芳賀洋輔	ソフトウェアの提案・開発	郡山市	平成30年 12月1日	自転車用走行ログ記録装置(特許出願中) 自転車版ドライブレコーダー クラウドプロバイダー事業	品質の高いコンピューターシステムの“効率的 な開発”と“安定した運用管理”をご提供いた します。
8	株式会社プロトンシステム 代表取締役 緑川 勲	電子機器製造業	仙台市	平成31年 1月4日	水素生成とアルミニウム一次電池を開発	再生可能エネルギーの開発の新規性の有る 水素生成とアルミニウム一次電池を開発し非 常用発電機を製品化することを目指します。
9	株式会社国際情報ネット 代表取締役社長 尾形 廣秋	ソフトウェア開発業務 インフラ整備、インフラ構 築及び電気通信工業業	柏 市	平成29年 10月1日	超高齢化社会に向けた介護支援ロボット 開発	病院IT支援の実績とノウハウを踏まえて院内患者や 高齢者施設などで活躍するロボット開発に努め人と ロボットの共生する社会創出に頑張ります。
10	(株)エムケー技研 代表取締役 諸根 理仁	・ロボティクス/メカトロニクス応 用機器の研究、開発、設計、製造並 びに販売・研究開発支援事業	郡山市	平成31年 4月1日	計測機器のプロトタイプの開発	主にロボット関連分野の受託開発を行って おります。受託開発で得た知見を活かした製品、 サービスの開発を進めて参ります。
11	SAISEI合同会社 代表社員 増尾 一	製造・サービス業 (バイオマスによる メタン分析装置の開発)	郡山市	平成27年 6月2日	メタン分解装置の商品化に向けての開発	バイオマス等自然エネルギー源の開発に関す る分散型電源システムのプロデュース及び販 売を目指しています。

新製品開発から事業化までを支援

令和元年度 各種助成事業

テクノポリス圏域内企業やグループ等の研究開発や起業化の取り組みを支援するため、各種助成事業を設けています。

1 F/S支援事業

研究開発や新事業創出等の成功
率を上げるために、開発に着手す
る前段のフィージビリティスタディ
(実現可能性・起業化可能性の調査
検討=F/S)を行う場合に経費の一
部(助成対象経費の2/3以内で
100万円を限度)を助成します。

2 研究開発助成事業

新技術または新製品の開発、生産工程の合理化または製品
の高付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究
開発を行う企業、共同研究グループに対して、研究開発に要
する経費の一部(助成対象経費の2/3以内で200万円を限
度)を助成します。

ただし、再生可能エネルギー、医療福祉機器及びロボット
に関する技術高度化に要する研究については300万円を限
度とします。

3 地域技術起業化助成事業

技術革新の進展に即応した技術を製品
化・商品化するため、その事業に向けて必要
な商品開発、情報収集、市場開拓等の事業を
行う企業や共同研究グループに対して起業
化に要する経費の一部(助成対象経費の
2/3以内で300万円を限度)を助成します。

※その他、技術高度化研修助成事業等があります。詳しくは、当機構にお問い合わせください。

平成30年度 助成対象企業

F/S支援事業

実施期間

平成30年5月1日～平成31年3月31日

申請者 ハーブとスローライフの研究者

テーマ 浅部地中熱の活用により「ハーブの高付加価値化」を促進し、高収益実現のための研究および実験。

事業内容 ハイブリット温室において、実験品種となるハーブを実際に栽培する。ヒートポンプにより室内温度を一定に保った環境で実験栽培する。一年を通じ安定的に出荷が可能となれば、出荷時期をずらすことによって商品の高付加価値が図られて高収益実現に繋がるかどうか、また生育期間がどの程度短縮するか等実験効果を測定する。

新製品開発から事業化までを支援

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)郡山サテライトの開設

当機構と日本大学の連携により、郡山地域における知的財産・産官学連携活動を活性化し、日本大学と企業間の共同研究、技術移転等を通じて地域産業の発展・振興に寄与するため、「ものづくりインキュベーションセンター」内に『NUBIC郡山サテライト』を平成19年7月から開設し、地域企業の皆様の技術開発等に係る相談に応じています。(平成30年度実績:8件)

主な
相談内容

- ・日本大学に属する研究者、研究シーズ、知的財産等の紹介、共同研究、技術指導等の斡旋
- ・知的財産制度、その運用等に関する情報提供
- ・研究開発支援制度、産学連携支援制度等の紹介
- ・その他、知的財産・産学連携活動の推進及び地域産業の活性化に資すること

郡山地域をはじめ 県内の
中小企業や個人の方が
対象です。
相談は無料です。

【開設日時】 毎月第4水曜日 午前10時から午後4時まで。事前申込みが必要です。

【開設場所 及び申込み先】 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

【電話】 024-926-0344

【E-mail】 monodukuri@nm.net6.or.jp

※「出前セミナー in企業」を希望される企業については、開催日時等について調整が必要となりますので、事前にご相談ください

産学官連携による人材育成

「Meister's College 2018」(マイスターズ・カレッジ2018)



開講式

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構では、ものづくり中小企業の中核となる技術者の方々を対象に、日本大学工学部・福島県立テクノアカデミー郡山等との産学連携により、人材育成事業として平成18年度から継続開催している「Meister's College」(マイスターズ・カレッジ)を実施しました。

今年度は、「イノベーションマスターコース」、「ファンダメンタルテクノロジーコース」の2コースで実施しました。

8月28日には、2コース合同による開講式を開催し、当機構の齋藤常務理事が「多様な知識・技術の習得により皆さん一人一人のスキルアップが図られるよう期待している」と挨拶しました。また、出村日本大学工学部長、引地テクノアカデミー郡山校長が祝辞を述べました。開講式後、日本大学工学部機械工学科教授 柿崎 隆夫 氏による基調講演を行いました。

イノベーション
マスターコース

製造業や設備保守の
自動化に携わる方

5名



ロボット・センサ・IoT技術に関する講座

このコースは、ロボットやセンサを活用することで生産現場の高度化や整備保守の効率化に役立つ技術を習得できる講座となっており、日本大学工学部機械工学科 武藤伸洋教授を中心とした4人の先生方に基礎的な理論から具体的な利用例などを分かりやすく講義いただきました。また、「KORIYAMA LOBOTLAB」開催期間中は実際に協働ロボットの操作を体験しながらのカリキュラムとなりました。

講座内容	日程	時間	場所	講師
開講式	8/28(火)	18:00~18:30	インキュベーション センター会議室	日本大学工学部 教授 柿崎 隆夫 氏
基調講演 オリエンテーション		18:30~19:30		
ロボットマニピュレータの 基本構成、運動学について	9/ 4(水)	18:30~20:00	インキュベーション センター会議室	日本大学工学部 教授 武藤 伸洋 氏
産業用ロボットマニピュレータの 基本的な教示再生方式の説明	9/11(水)	18:30~20:00		
産業用ロボットマニピュレータ 実機の操作体験	9/18(水)	18:30~20:00		
ロボットにおけるセンサや ネットワークの利用例	9/25(水)	18:30~20:00		
パラレルリンクマニピュレータなどの 産業機械について	10/ 2(木)	18:30~20:00		
土木、林業等の分野における 3次元計測と環境・物体認識への応用	10/16(木)	18:30~20:00		
歩行者の障害物回避行動モデルと ロボットの経路生成への適用	10/23(木)	18:30~20:00		
IoTの基礎知識と利用例 全体まとめ	10/30(木)	18:30~20:00		
日本大学工学部 専任講師 遠藤 央 氏 日本大学工学部 准教授 溝口 知広 氏 日本大学工学部 准教授 高梨 宏之 氏 日本大学工学部 教授 武藤 伸洋 氏				

ファンダメンタル
テクノロジーコース

製造業に携わる方やデバイス設計、
3Dラピッドタイピングに興味のある方

3名



電子回路の製作とラピッドプロトタイピング

このコースは電子回路設計技術と3D技術を活用することで、製品の機能から外観の試作まで、ものづくりの工程を幅広く学ぶ講座となっており、県立テクノアカデミー郡山 成瀬教務主任を中心とした4人の先生に、電子回路図の基礎から3D-CADによる製図や3Dプリンタで造形した筐体とのアセンブリなどの体験等を学びました。

講座内容	日程	時間	場所	講師
開講式	8/28(火)	18:00~18:30	インキュベーション センター会議室	日本大学工学部 教授 柿崎 隆夫 氏
基調講演 オリエンテーション		18:30~19:30		
電子回路図の図記号・読み方、 フレッドボードでの配線	9/ 3(水)	18:00~21:00	福島県立 テクノアカデミー郡山	福島県立 テクノアカデミー郡山 教務主任 鈴木 剛 氏 教務主任 有賀 真一 氏 副教務主任 兼子 純一 氏
Ltspiceによる電子回路の シミュレーションと回路測定	9/ 5(木)	18:00~21:00		
回路CADを使用したプリント基板の 設計と基板加工機による製作	9/10(金)	18:00~21:00		
プリント基板への電子部品の ハンダ付け作業と動作確認	9/12(土)	18:00~21:00		
3次元CADの基本操作と プリント基板BOXのモデリング	9/19(土)	18:00~21:00		
3Dプリンタによるプリント基板BOXの 造形と3Dスキャナの基本操作	9/21(日)	18:00~21:00		
3Dスキャナによる 受講生の胸像データ取得と造形	9/26(木)	18:00~21:00		
プリント基板と3Dプリンタで造形した筐体との アセンブリ、3Dデータを扱う上での注意点について	9/28(金)	18:00~21:00		
福島県立 テクノアカデミー郡山 教務主任 成瀬 哲也 氏				

産学官連携による人材育成

ちびっ子マイスターズ・カレッジ2018

【主催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構・日本大学工学部

【実施日・場所・参加者】

平成30年 7月21日(土) 日本大学工学部70号館 7013教室

〈午前の部〉19組(親子38名)

【講師】日本大学工学部 教授 武藤 伸洋 氏

〈午後の部〉19組(親子38名) 合計38組(76名)

「ロボット動かし隊」は、お陰様で成功裡に終えることができました。今回も各教育委員会様のご協力により児童への周知効果もあって、午前の部73名・午後の部64名、併せて定員の約3.4倍(137名)の応募がありました。会場やロボットの数・スタッフの関係で参加者を増やすことが出来ず予定通りに各部とも20組で実施しました。午前の部・午後の部ともに1組ずつ欠席者がおり合わせて38組(76名の親子)で実施しました。

講師の武藤教授からロボットの動かし方について、二通りの方法を教えて頂きました。一つ目は自分の手の動きに連動して動く「モーションキャプチャー」方式のロボットの操作や、一台のロボットを直接動かしてもう一台のロボットを動かす「マスタースレーブ」方式の操作などを真剣に学んでいました。

親子工作では、武藤教授や補助員(学生)達による指導のもとモーターで動く競走馬「メカ・ダービー」の組み立てに挑戦しロボットの動く仕組みに関しても学びました。完成した「メカ・ダービー」をコースで走らせ、ものづくりの楽しさを満喫していました。

この講座(ロボット)で学んだ事を夏休みの「自由研究」に活かす事ができるなど、楽しい1日を親子で過ごすことができ大変好評でありました。



柿崎工学研究所次長の挨拶



武藤教授の講義



モーションキャプチャー方式



マスタースレーブ方式



親子でメカ・ダービー作り



メカ・ダービー テスト走行



集合写真(午前の部)



集合写真(午後の部)

産学官連携による人材育成

中学生向け医工連携人材育成事業 “医療の道を歩む、未来への第一歩”

【主催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

【共催】日本大学工学部

(一財)ふくしま医療機器産業推進機構

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)

【実施日】平成30年 8月3日(金)

【実施場所】ふくしま医療機器開発支援センター

【講師】日本大学工学部 電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏

(一財)ふくしま医療機器産業推進機構 職員

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 社員

【参加者】38名

全体写真



当機構では、中学生を対象に、日本大学工学部並びに民間企業の方々を講師に迎え、「医工連携に係る講義」や「模擬手術体験」等を通じて、「医療全般」について理解を深め、福島の将来を担う医工連携人材の育成を図る『中学生向け医工連携人材育成事業』を開催しました。

ふくしま医療機器開発支援センターを会場に脳外科医の酒谷教授から「医療工学とは?」と題し医療行為における医療機器の重要性を学習した後、4班に分かれ「手術室体験」、「看護体験」、「内視鏡体験」、「自動縫合機体験」を順に体験しました。

参加した中学生は普段できない体験に目を輝かせ、真剣に、とても楽しんで取り組んでいました。



手術室体験



自動縫合機体験



内視鏡体験



講義風景

研究開発・事業化支援

平成30年度 産学金官連携コーディネート業務

郡山市から、『産学金官連携による新事業・新産業創出を推進する。また、企業訪問による新たな連携可能な企業の発掘や情報収集も継続的に実施する』ことを目的とした委託業務を当機構が受託しました。

【発注者】郡山市
 【件名】産学金官連携コーディネート業務
 【受託期間】平成30年6月1日から平成31年3月23日まで
 【実績概要】主な実績は以下の通り

1 企業訪問

① 市内企業への訪問

・311社(平成31年 2月20日現在)

② 金融機関との連携

・金融機関との勉強会の実施(経営者を集めた勉強会)……2回 ・勉強会参加企業等へのフォロー……3件

③ 郡山市産業振興事業への参画推進

・「郡山市知財財産マッチング交流会」にかかる参画 平成31年 1月23日(水) 13:00~18:30 郡山市労働福祉会館
 企業訪問……11社 / 郡山市モデルの形成に向けた企業訪問……3社

2 産学官のマッチング

① FREAとの勉強会の実施

【日 時】平成30年10月16日(火)15:00~
 【会 場】FREA
 【内 容】「FREAとの新たな企業連携について」
 【企業紹介】2社

② ぶくしま医療機器開発支援センターとのマッチング

・センター職員との技術コーディネーターによる企業訪問 …… 1件
 ・ポーンチッパー(医療用機器)の設計開発、機器評価
 企業紹介 …… 2件



ポーンチッパー評価

③ 日本大学工学部、会津大学、奥羽大学と企業のマッチング

・**日本大学工学部**
 地元企業との機器開発のための連携 …… 2件
 教授への企業紹介 …… 1件

・**会津大学**
 会津大教授との企業訪問 …… 1件
 会津大学のシーズを使用した機器開発の提案書作成

・**奥羽大学**
 奥羽大学のシーズ調査を実施、他機関との連携を検討中 …… 1件

サイクルレコーダー実証試験



④ 学術連携会議構成高等教育機関と企業のマッチング及びフォローアップ

・郡山北工業高校との連携 …… 1社

3 産学金官による事業化支援 プロジェクトチームの進捗管理

① 生しいたけ自動選別機プロジェクトチーム

林精器製造(株)、日本大学工学部、JA全農ぶくしま

② ポーンチッパー製作・販売

総合南東北病院、(株)アサカ精機、(株)サージカルスパイン、医療機器開発支援センター

③ コミュニケーションロボットの社会実装

(株)国際情報ネット、(株)マルマス

4 その他 市内企業の情報や企業の製品等を掲載した小冊子の作成

企業連携の促進

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

戦略的アライアンス形成会議は、郡山テクノポリス地域などの中小製造業者が保有する技術力、設備、営業力等の潜在能力を戦略的に活用する組織(アライアンス)を構築することによって、高度な研究開発、新しい受発注及び各種産業振興支援施策の担い手となり、地域産業の活性化を図ることを目的としています。

平成31年3月末現在、54社が参画しています。

平成30年度は、受発注の推進に向けた活動を強化し新たに企業製品発表会(プレゼン会)を単独及びこおりやま産業博との共催で行うとともに、タイムリーな話題や当形成会議のPRのため、特別講演会を開催しました。

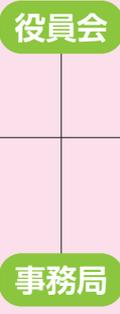


多くの方に参加いただきました(特別講演会)

事業体系

平成30年度

形成会議



特別講演会

研究開発推進部会

■ロボットテクノロジーフォーラム

コーディネーター: 日本大学工学部機械工学科 教授 柿崎 隆夫 氏

ボードメンバー企業: 東成イービー東北株式会社 / 株式会社日東紡テクノ
林精器製造株式会社

■健康医療福祉産業創生フォーラム

コーディネーター: 日本大学工学部電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏

ボードメンバー企業: 株式会社ニチオン / アルファ電子株式会社 / 日本全薬工業株式会社
株式会社エヌジェイアイ / 株式会社アサカ精機 / 有限会社エスグ

■サステナブル地域づくりフォーラム

コーディネーター: 日本大学工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

ボードメンバー企業: 株式会社ユアテック 須賀川営業所 / 株式会社あおい
株式会社アーバン設計 / 陸奥テックコンサルタント株式会社

受発注推進部会

■企業製品・研究成果等 発表会(プレゼン会)

研究開発プロジェクト

■生しいたけ自動選別機研究開発プロジェクト: 林精器製造株式会社 / 日本大学工学部 / JA全農福島

事業方針

※当形成会議への入会は随時受け付けています。詳しくは、テクノポリス推進機構事務局までお問い合わせください。

- 1 会員企業相互の強みを生かしたアライアンス(連携、協調)を強化することにより、新たに付加価値の創出を図るなど、技術力の向上と産業振興を目指す。
- 2 会員企業の技術連携を図り、高度技術や複合技術が必要とする難度の高い特注品・試作品・完成品等を含む受注の確保を目指す。
- 3 会員企業の情報交換により、新製品・新商品の開発、ソフトウェアの開発、販売戦略などの成果実現を目指し、新事業の創出と活性化を図る。
- 4 会員企業のアライアンス活動を通して、地域にアライアンス形成会議の知名度アップを図る。

アライアンス 役員

平成31年3月1日現在

役員	氏名	企業名	会員役職
最高顧問	高木 茂保	エスケー電子工業(株)	取締役相談役
会長	林 明博	林精器製造(株)	代表取締役社長
副会長	大槻 努	作田電機(株)	代表取締役社長
委員	高橋 晃一	(株)アーバン設計	代表取締役
委員	高島 伸幸	(有)エスグ	代表取締役
委員	神田 雅彦	神田産業(株)	代表取締役
委員	吉田 俊夫	(株)吉城光科学	取締役会長
委員	森尾 和衛	日本全薬工業(株)	専務取締役
委員	水上 哲夫	(有)ぱすわーど	代表取締役
委員	桑原 勝幸	(株)リゾーム	代表取締役社長
監査	吾妻 柄穂	日ノ出工機(株)	代表取締役
監査	遠藤 正成	(株)北斗型梓製作所	代表取締役

1 会議・交流会等の開催

① 役員会

- 【開催日】平成30年 5月17日(木) ・平成30年 8月9日(木) ・平成30年 10月5日(金) ・平成31年 2月1日(金)
 【会場】ものづくりインキュベーションセンターほか
 【参加者】当形成会議役員
 【内容】
 ・29年度事業報告及び収支決算報告について
 ・30年度事業計画(案)及び予算(案)について
 ・30年度役員(案)について
 ・新規会員企業について ほか



役員会

② 総会・交流会

- 【開催日】平成30年6月6日(水)
 【会場】ホテルハマツ 【参加者】21名
 【内容】
 ・29年度事業報告及び収支決算報告について
 ・30年度事業計画(案)及び予算(案)について
 ・30年度役員について



総会

③ 特別講演会

- 【開催日】平成31年2月1日(金) 【会場】ホテルハマツ 【参加者】80名
 【内容】タイムリーな話題提供や当形成会議PRのための講演会を開催しました。講師には、「Team KUROSHIO」の共同代表であり、国立研究開発法人海洋研究開発機構の大木健氏をお招きし、ご講演いただきました。
 【演題】日本初の海底探査チーム「Team KUROSHIO」Shell Ocean Discovery XPRIZEへの挑戦
 【講師】Team KUROSHIO共同代表 海洋研究開発機構(JAMSTEC) 地震津波海域観測研究開発センター 技術研究員 大木 健氏



開会あいさつ



大木氏による講演

2 受発注推進部会

受発注推進部会は、会員企業の有する技術、手法、情報、経験などを認識することで、アライアンス(企業連携)や受発注を推進するための部会です。好評の企業製品等発表会は、会員企業のみならず、高等教育機関や産業支援機関等からもプレゼンがあります。

① 第7回 企業製品・研究成果等発表会(プレゼン会)

- 【開催日】平成30年 6月6日(水) 【会場】ホテルハマツ 【参加者】40名
 【内容】会員企業による企業紹介
 株式会社フクジんキャリアサポート 代表取締役社長 安田 敬氏
 株式会社マイステック 事業管理チーム事業推進担当 津野 充輝氏
 株式会社アイ・エム・ディ 代表取締役 渡邊 利一氏



企業製品・研究成果等発表会(第7回)

② 第8回 企業製品・研究成果等発表会(プレゼン会)

- 【開催日】平成30年 10月5日(金)
 【会場】ビッグパレットふくしま1階(こおりやま産業博会場内)
 【参加者】約100名(高校生含む)
 【内容】
 ・テクノポリス圏域の中核的企業の
 プレゼンテーション及び情報交流
 【プレゼンテーション参加企業】
 保土谷化学工業株式会社 / 東成イービー東北株式会社
 株式会社東北村田製作所 / 株式会社アスター
 株式会社日本工営 / 株式会社デンソー福島



こおりやま産業博との共催

「こおりやま産業博」と共催した
第8回企業製品・研究成果等発表会デンソー福島も
地域企業との取引を希望していました

3 研究開発推進部会

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議では、産学官連携による研究開発体制の構築を目的に各種研究会活動を支援するとともに、大学等との連携により、技術シーズの紹介・提案、企業ニーズの大学等での検証、シーズとニーズのマッチングによる具体的な産学共同研究開発案件の掘り起こしなどを行っています。

現在、分野別に「サステナブル地域づくりフォーラム」・「健康医療福祉産業創生フォーラム」そして「ロボットテクノロジーフォーラム」の3つの研究会が活動しています。以下、これら研究会の活動状況を紹介いたします。

サステナブル地域づくりフォーラム

地域住民の暮らしを支える社会インフラは、高度経済成長期に集中整備された道路や橋、上下水道施設、学校や庁舎等の老朽化が深刻化しています。また、中山間地では限界集落や災害時の孤立といった問題が顕在化することが予想されます。このような背景のもと、このフォーラムでは産学官が密接に連携しながら、地域住民とともに地域の強みや再生可能エネルギーを生かした持続可能で、自立した地域づくりを進めることを目的としています。



中野教授による話題提供



須賀川市内で実践している朝岡准教授の話題提供



岩城教授による話題提供

○第5回 サステナブル地域づくりフォーラム

～持続可能で自立した地域づくりを目指して～

【開催日】平成30年 7月31日(火) 14:00～

【場 所】須賀川市役所4階大会議室 【参 加】86名

【内 容】●コーディネーターからの話題提供及び意見交換

【テーマ】持続可能で自立した地域づくりを目指して

- ①ロハス花壇による汚水処理施設のグリーンインフラ化を目指して
〈講師〉日本大学工学部 土木工学科 教授 中野 和典 氏
- ②田んぼダム事業による水災害の軽減
〈講師〉日本大学工学部 土木工学科 准教授 朝岡 良浩 氏
- ③「橋のセルフメンテナンスふくしまモラル」の構築と実践
〈講師〉日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

健康医療福祉産業創生フォーラム

今後とも市場規模が拡大すると考えられる、健康・医療・福祉介護分野にテーマを広げ、「新しい医療関連産業の創出・研究開発の推進」を目指します。



酒谷教授のあいさつ



伊藤氏による講演



藤井氏の講演



パネルディスカッション

○第6回 健康医療福祉産業創生フォーラム ～統合医療とまちづくり～

【開催日】平成30年 7月6日(金) 13:30～

【場 所】日本大学工学部次世代工学技術研究センター 【参 加】53名

【内 容】●第一部 基調講演

【講演1】新たな医療の展開、全人的統合医療

～持続可能な健康長寿社会を目指して

公益財団法人 大阪府保健医療財団

大阪がん循環器病予防センター 所長 伊藤 壽記 氏

【講演2】自然一体型統合医療センター

一ハケ岳、大井川における試み

株式会社統合の杜研究所 藤井 美由紀 氏

●第二部 パネルディスカッション

〈司 会〉酒谷 薫 氏

〈パネラー〉伊藤 壽記 氏、藤井 美由紀 氏

橋本 弘幸 氏(株)エヌジェイアイ 代表取締役)

春名 秀樹 氏(ゼビオコーポレート(株) 執行役員)

ロボットテクノロジーフォーラム 「Koriyama Robot Lab」

【主 催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構、郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

【共 催】日本大学工学部、郡山地域テクノポリス市町村協議会、郡山地域テクノポリス推進協議会

【後 援】福島県、郡山市、須賀川市、石川町、鏡石町、玉川村、三春町

【協 力】オリックス・レンテック(株)、林精器製造(株)、(有)品川通信計装サービス、(株)リノーム、マサモト(株)、THK(株)、(株)シンテックホズミ、ヤマハ発動機(株)、安川エンジニアリング(株)

【協 賛】(株)東邦銀行

【担当コーディネーター】日本大学工学部機械工学科 教授

日本大学工学研究所 次長 柿崎 隆夫 氏

【開催日】平成30年 8月28日(火)～平成30年 9月28日(金)

【会 場】郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

【参加者数】240名 ①オープニングセレモニー 51名

②見学・相談会 189名

①企業:65社(125名)

②行政、支援機関、金融機関:11団体(39名)

③学校:1校(25名)

【内 容】企業の生産性向上のための協働ロボットの展示・導入相談会

①8月28日 オープニングセレモニー

①テープカット

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長 滝田 康雄

郡山地域テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議 会長 林 明博

日本大学工学部 学部長 出村 克宣 氏

会津大学 理事長 岡 隆一 氏

郡山市長 品川 万里 氏

福島県商工労働部 次長 新関 勝造 氏

②講演1 「Koriyama Robot Lab」日本大学工学部 教授 柿崎 隆夫 氏

③講演2 「実践! 中小工場へのロボット導入

～本格導入のその前に! レンタルで始めるロボット導入!

オリックス・レンテック(株)

執行役員事業開発本部長 兼新規事業開発部長 黒崎 隆二 氏

②8月29日～8月31日 見学会

③9月1日～9月28日 導入相談会 導入相談件数:9社 11件

④自動化設備・ロボット等導入進捗報告(2月20日現在)

①成約:2件(ロボット導入:1件、ロボットレンタル:1件)

②見積等提出:3件 ③その他:1件



展示風景



展示風景



セミナー風景



展示風景

郡山商工会議所
伊藤副会頭
あいさつ(開会式)

イノベーションテクノロジーを引き継ぎロボットテクノロジーフォーラムとして初めて実施しました。

企業が抱える、「生産性の向上」、「人材不足」などの一助となるよう最新の協働ロボットの展示、及び工場自動化のためのロボット導入相談会を実施しました。

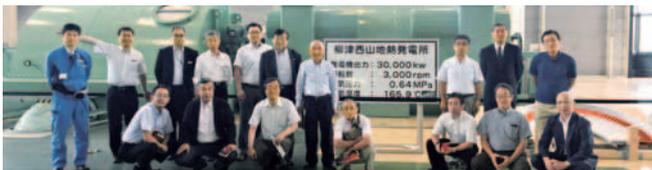
企業連携の促進

須賀川方部アドホック研究会



総会

会員相互の技術、情報などの交流と幅広い研究を通して、新技術、新商品、新事業の開発と新市場の開拓を促進するとともに、生産・販売面での相互協力を促進し、会員企業の成長発展と地域産業の振興に貢献することを目的に活動しています。会員は郡山地域テクノポリス圏域内(郡山市、須賀川市、三春町、鏡石町、玉川村、石川町)などの企業経営者・役員です。



東北電力 柳津西山地熱発電所視察



東成エレクトロビーム(株)視察



企業間ネットワークセミナー参加



ドラッグストアショー視察

平成30年度 事業内容

会員数 27名(平成31年2月末現在)
会長 神田雅彦(神田産業(株) 代表取締役)

4月	定期総会
5月	例会 月別テーマ検討会
6月	例会 講演会 〈テーマ〉電気電子工学の知恵が最高にクールな理由 〈講師〉日本大学工学部准教授 村山 嘉延 氏
7月	例会 視察研修(福島県) ●東北電力(株)柳津西山地熱発電所 第二沼沢水力発電所
8月	例会 視察研修(福島県) 東成エレクトロビーム(株)
9月	例会 視察研修(福島県) 郡山口ポットラボ見学会
10月	例会 講演会 〈テーマ〉管理農業と野土農産 〈講師〉にっこにこバラ園(株) 伊丹 雅昭 氏
11月	例会 海外視察研修(香港) JETRO香港事務所 香港Terminal 3 Fairate倉庫 ほか
12月	例会 海外視察研修報告
1月	例会 平成31年度事業の検討会
2月	例会 須賀川市企業間ネットワークセミナー2018への参加
3月	例会 視察研修(千葉県:ドラッグストアショー)

ICTを活用した産業の振興

郡山オープンイノベーション(KOI)会議の開催

郡山市、会津大学、郡山地域テクノポリス推進機構の三者連携により、企業や地域の皆さまが持つ課題の解決のため、意見交換や勉強会を実施しています。

昨年は、会津大学のシーズや研究開発の視察の他、地域企業と連携した機器の開発に向けて、次のとおり打合せをしました。

【日 時】平成30年 12月10日(月) 10:00～11:00
【場 所】会津大学 UBIC
【内 容】会津大学上級准教授朱欣の研究シーズを活用した機器開発
【参加者】6名



第4回 KOI全体



第5回 岩瀬先生の講演



第5回 大型災害対応ロボット「援電」の実演

受発注機会の創出

ICTを活用した商談会(Linkers)

平成28年12月に当機構とリンカーズ株式会社が覚書を締結し、当機構が大手発注企業と地元受注企業との懸け橋になるコーディネーターとして登録されました。

リンカーズを通じた大手発注企業からの具体的な技術探索依頼に対して、当機構の強みである各分野に精通した各コーディネーターが圏域企業の技術等の目利きを行い、受注候補として推薦し、新規取引先の成立を支援してまいります。

発注案件に係る 紹介企業数 **5件**

平成30年4月～平成31年3月

産学官連携による人材育成

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会は、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構や郡山高度情報化システム研究会などと連携して、テクノポリス圏域内のICT化支援、高度情報化の推進を図るため、圏域内市町村、各種団体・企業、大学・情報系高校・専門学校等の協力のもとさまざまな事業を展開しています。平成30年度の主な事業は次の通りです。なお、平成31年度については、RPA並びにIoT関連講座の開催や小学生を対象としたプログラミング教室、中学生を対象としたロボット教室の実施、ICT関連企業と連携した就職支援活動を実施して参ります。

ICT交流事業

Connect 2018 in Koriyama,
with UDC ブラッシュアップ交流会

ハッカソン「Connect 2018 in Koriyama, with UDC」で開発した作品(アプリ)のブラッシュアップを目的に発表と意見交換を行った。また、UDC(アーバンデータチャレンジ)へのエントリーについての説明も行った。

【日時】平成30年 12月17日(月)
13:30~16:30

【会場】郡山市役所 本庁舎 2F
「特別会議室」

【共催】郡山市、
(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

【参加者】7チーム:32名(参加者、事務局他)



発表風景

セーフコミュニティフェスタ
“こおりやま”2019 作品展示

郡山市セーフコミュニティ国際認証取得の1周年を記念して開催されたイベントにアプリを出展しプレゼンを行いました。

【日時】平成31年 2月2日(土)
12:30~16:30

【会場】郡山市立中央公民館
多目的ホール ほか

【参加】市民、
郡山市セーフコミュニティ推進協議会会員 他

【出展】ハッカソン4作品



出展者の皆さん

情報化人材育成・研修事業

ちびっ子マイスターズ・カレッジ2018「コンピューター動かし隊!」

2020年度から小中学校の教育指導要領に組み入れられるプログラミング授業の環境整備と子供たちの論理的思考力を養い、圏域におけるICT化推進、並びに将来の高度ICT人材育成を目的に実施した。今回も好評で、三春会場を新たに設けるなどして対応した。実施にあたりテクノアカデミー郡山校、郡山北工業、清陵情報の学生たちのアシストをいただいた。

【開催日時】〈郡山会場/郡山商工会議所会館〉平成30年 8月5日(日) 午前(19名)、午後(18名)
〈三春会場/自然観察ステーション〉平成30年 8月6日(月) 午前(18名)
〈須賀川会場/須賀川アリーナ〉平成30年 8月7日(火) 午前(18名)、午後(14名)
〈鏡石会場/鏡石町図書館〉平成30年 8月8日(水) 午前(8名)
〈玉川・石川会場/福島空港〉平成30年 8月8日(水) 午後(14名)

【参加者数】合計109名(郡山:37名 須賀川:32名 鏡石:8名 石川・玉川:14名 三春:18名)

【参加対象者】テクノポリス圏域内小学校高学年(4~6年生) 【講師】(株)プレイノーション 代表取締役社長 菅家 元志 他1名

【使用教材】「Scratch(スクラッチ)」(子供向け教育用プログラミング言語) 【主催】郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

【共催】須賀川市、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

【協力】ふくしまICT利活用推進協議会、福島県立テクノアカデミー郡山校、福島県立郡山北工業高等学校、福島県立清陵情報高等学校

【後援】郡山市・須賀川市・三春町・鏡石町・石川町・玉川村教育委員会・郡山高度情報化システム研究会



プログラミング風景

Connect2018 in Koriyama,with UDC(ハッカソン)

「自治体の持つビッグデータやオープンデータを活用して、地域課題を解決するアプリケーションを作ろう」をテーマに、1泊2日の合宿形式でアプリを開発するイベント。事業を通してプログラミング技術の向上やコミュニケーション能力を高めることを目的に実施した。オープニングセミナーでは、郡山市と日本マイクロソフト社に講師を務めて頂いた。市内ICT関連企業や県立テクノアカデミー郡山校、Wiz国際情報工科大学校等から多数参加頂き大いに盛り上がり充実した2日間であった。

【開催日時】平成30年 11月10日(土)~11日(日) 9:00~18:00 【開催会場】郡山市青少年会館 【参加者数】82名(15チーム)

【オープニングセミナー講師】郡山市 政策開発部 ソーシャルメディア推進課 係長 遠藤 威史 氏

日本マイクロソフト株式会社 プリンシパルソフトウェア開発エンジニア 畠山 大有 氏

【主催】郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 【共催】郡山市/(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

【運営進行】(株)福島情報処理センター 大久保 仁 氏(エフスタ代表)

【運営協力】ふくしまIoTビジネス共創ラボ/エフスタ!!/日本マイクロソフト株式会社/アーバンデータチャレンジ2018実行委員会

【後援】圏域内市町村/郡山商工会議所/須賀川商工会議所/鏡石町・石川町・三春町・玉川村 各商工会/郡山高度情報化システム研究会

入賞チーム名および
アプリケーション名

- ・郡山市長賞…FIC Aチーム/あいまい@SOS)
- ・郡山高度情報化システム研究会賞…MaaS/あなたの街の夜を明るく“照らす”アプリ「てらすタウン」
- ・Connect2018 in Koriyama(ニュー・コメ)賞…Wiz H/コミュニケーションのたね
- ・日本マイクロソフト社賞…テクノアカデミー郡山/郡山市の文化財を覚えられるタイピングソフト

【関連事業】平成31年 3月18日(金)

「UDC2018ファイナル」

~最終審査会&地域拠点活動報告(ポスターセッション)~
が開催され、ポスター展示を行った。



全員で記念撮影

ICT 高度利用推進事業

RPA(ロボティク・プロセス・オートメーション)講習会

働き方改革の一環として事務作業の効率化が期待されているRPAについて説明会と体験会を実施しました。事務作業の一部を24時間稼働可能なソフトウェア(デジタル・レイバー)が人に代わって行うもの。今回は、既に稼働しているRPAの導入事例なども含め、自治体向けと企業向けの2回にわたり開催した。

- 【開催日時】平成30年 7月11日(水)、7月12日(木)
- 【開催会場】郡山地域ものづくりインキュベーションセンター「会議室」
- 【参加者数】37名(〈7/11〉19名・〈7/12〉18名)
- 【講師】一般社団法人日本RPA協会/RPAテクノロジーズ(株) 永岡 翼 氏
ふくしまIoTビジネス共創ラボ 代表 大久保 仁 氏
- 【共 催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構
- 【後 援】圏域内市町村、商工会議所・商工会、郡山地域テクノポリス推進協議会、郡山高度情報化システム研究会



セミナーの様子

※RPA(ロボティク プロセス オートメーション)とは、ソフトウェアのロボット技術により、定型的な事務作業を自動化・効率化すること。特に、事務を補完・代行する仕組み。

総会・監査会・ボードメンバー会議

監査会

- 【開催日時】平成30年 4月19日(木) 正午～
- 【開催会場】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 会議室
- 【議 題】平成29年度 事業報告・一般会計決算書の監査

総 会

- 【開催日時】平成30年 5月7日(月) 11:00～
- 【開催会場】INC「会議室」
- 【議 題】平成29年度 事業報告・収支決算書
平成30年度事業計画(案)・収支予算(案)の件
ボードメンバー委員補充選任の件

第1回 ボードメンバー会議

- 【開催日時】平成30年 6月20日(水) 15:00～
- 【開催会場】INC「会議室」
- 【議 題】総会報告、ボードメンバー委員補充選任の件
平成30年度事業計画の件

第2回 ボードメンバー会議

- 【開催日時】平成30年 9月14日(金) 15:00～
- 【開催会場】INC「会議室」
- 【議 題】Connect2018「ハッカソン」
ちびっこマスターズカレッジ「コンピューター動かし隊」
RPA講習会、こおりやま産業博(ものづくりプレゼン&交流会)
メディカルクリエイション2018の件

第3回 ボードメンバー会議

- 【開催日時】平成31年 2月25日(月) 14:30～
- 【開催会場】INC「会議室」
- 【議 題】ちびっこマスターズカレッジ「コンピューター動かし隊」
Connect2018「ハッカソン」
「ブラッシュアップ交流会」
「セーフコミュニティフェスタこおりやま」報告
平成31年度 事業計画(案)について意見交換

令和元年度の主な事業・イベント

令和元年度は、RPA講座の開催や小学生を対象としたプログラミング教室、ICT関連企業と連携した事業を実施して参ります。

5月・総 会(5/13)	7月・ちびっこマスターズカレッジ コンピューター動かし隊 (7/20・21・28)	12月・ブラッシュアップ交流会
6月・ボードメンバー会議	10月・ボードメンバー会議	1月・ボードメンバー会議
7月・RPAセミナー(7/19)	11月・Connect 2019 ハッカソン (11/9・10)	2月・課題解決アプリプレゼン

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

【会場】ビッグパレットふくしま

イベントへの出展

県内外から多くの来場者が見込まれるイベントに出展し、当機構が取り組む事業紹介や、ものづくりインキュベーションセンターに入居する企業の成果発表の場として活用しました。

こおりやま
産業博

【開催日】
平成30年
10月5日(金)、6日(土)、7日(日)
【来場者】21,921人

ふくしま復興・再生可能
エネルギー産業フェア
(REIFふくしま)

【開催日】
平成30年
11月7日(水)、8日(木)
【来場者】7,015人

メディカル
クリエイション
ふくしま

【開催日】
平成30年
10月18日(木)、19日(金)
【来場者】3,612人

ロボットフェスタ
ふくしま

【開催日】
平成30年
11月22日(木)、23日(金・祝)
【来場者】9,600人

平成30年度 理事会等の開催報告

理事会

- 第1回** 【日時】平成30年 6月7日(木)
【場所】インキュベーションセンター
【内容】平成29年度 事業報告及び決算 ほか
- 第2回** 【日時】平成30年 6月28日(木)
【場所】決議の省略の方法による開催(書面)
【内容】理事長及び常務理事の選定
- 第3回** 【日時】平成31年 3月22日(金)
【場所】インキュベーションセンター
【内容】平成30年度 業務執行状況及び補正予算
特定費用準備資金取扱規程の制定
特定費用準備資金の設定
平成31年度 事業計画及び当初予算
評議員会招集(役員補充選任)

監査会

- 【日時】平成30年 5月24日(木)
【場所】ビッグパレットふくしま
【内容】平成29年度 事業報告及び決算

評議員会

- 第1回** 【日時】平成30年 5月8日(火)
【場所】決議の省略の方法による開催(書面)
【内容】補充評議員1名及び補充理事1名の選任
- 第2回** 【日時】平成30年 6月28日(木)
(定時)【場所】インキュベーションセンター
【内容】平成29年度 事業報告及び決算
平成30年度 事業計画及び収支予算
任期満了による評議員、理事、監事の選任

令和元年度の主な事業・イベント

5月

- ・INC入居者審査会(5/15)
- ・アライアンス役員会(5/17)
- ・監査会(5/22)

6月

- ・アライアンス総会・プレゼン等(6/5)
- ・理事会〈決算〉(6/7)
- ・評議員会〈決算〉(6/27)
- ・郡山地域産業支援連絡会議

7月

- ・第1回 技術等審査委員会(7月下旬)
- ・ちびっ子マイスターズ・カレッジ(7/20)
- ・健康医療福祉産業創生フォーラム
- ・サステナブル地域づくりフォーラム
- ・中学生医工連携人材育成事業(7/25)

8月

- ・INC入居者審査会
- ・マイスターズ・カレッジ
(8月下旬～11月上旬)

10月

- ・こおりやま産業博・アライアンスプレゼン会
- ・助成事業 第2回公募(10/1～11/30)
- ・REIFふくしま(10/30・31)
- ・ロボット・ラボ開設(10月下旬～11月上旬)

11月

- ・産学官連携フォーラム
- ・メディカルクリエーションふくしま(11月上旬)

12月

- ・理事会〈業務執行状況〉(12月上旬)

1月

- ・技術等審査委員会

2月

- ・INC入居者審査会
- ・アライアンス特別講演会

3月

- ・理事会〈予算〉

会津大学、郡山市、当機構の3者による「郡山オープンイノベーション会議(KOI会議)」も実施してまいります。
その他、須賀川方部アドホック研究会では、毎月定例会を開催します。

役員・職員等の紹介

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 役員

【任期：平成30年 6月28日～令和2年 6月 定時評議員会】 令和元年 5月8日現在(順不同・敬称略)

理事長	滝田 康雄	郡山地域テクノポリス推進協議会会長 郡山商工会議所会頭
常務理事	齋藤 隆	郡山商工会議所常務理事
理事	福井 邦顕	日本全業工業(株)代表取締役会長
理事	渋谷 重二	郡山地区商工会広域協議会会長 富久山町商工会長
理事	岩谷 幸雄	郡山地域テクノポリス推進協議会副会長 玉川村商工会長
理事	出村 克宣	日本大学工学部長
理事	二見 亮弘	福島大学共生システム理工学類長
理事	橋本 喜宏	鏡石町産業課長
理事	佐藤 康博	石川町産業振興課長
理事	須田 潤一	玉川村産業振興課長
監事	村上 浩	(株)大東銀行取締役本店営業部長
監事	永山 晋	三春町産業課長

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 評議員

【任期：平成30年 6月28日～令和4年 6月定時評議員会】 令和元年 5月8日現在(順不同・敬称略)

評議員	伊藤 清郷	郡山商工会議所副会頭
評議員	山田 慶太	郡山商工会議所工業部会長
評議員	林 明博	須賀川商工会議所工業部会長
評議員	石川 博康	日本大学工学部工学研究所次長
評議員	須藤 英穂	(株)東邦銀行常務取締役本店営業部長
評議員	奥崎 修司	東北電力(株)郡山電力センター所長
評議員	鈴木 清昭	(公財)福島県産業振興センター理事長
評議員	山寺 賢一	福島県商工労働部 再生可能エネルギー産業推進監兼次長
評議員	鈴木 伸生	須賀川市産業部長
評議員	村田 和哉	郡山市産業観光部次長

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会委員

令和元年5月13日現在(順不同・敬称略)

会長	滝田 康雄	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長
副会長	出村 克宣	日本大学 工学部長
副会長	小暮 憲一	郡山商工会議所 情報文化部会長
委員	渡邊 達雄	須賀川商工会議所 会頭
委員	渋谷 重二	郡山地区商工会広域協議会会長
委員	阿部 晃造	郡山商工会議所 工業委員長
委員	竹谷 金浩	(株)NTT東日本 福島支店 郡山営業支店長
委員	瓜生 利典	(株)エフコム 代表取締役社長
委員	水上 哲夫	(株)ばすわーど 代表取締役
委員	力丸 忠博	福島県 企画調整部 情報政策課長
委員	穴戸 陽介	福島県 商工労働部 産業創出課長
委員	渡部 修	福島県 ハイテクプラザ副所長
委員	山本 晃史	郡山市 政策開発部長
委員	鈴木 伸生	須賀川市 産業部長
委員	小貫 秀明	鏡石町 総務課長
委員	齋藤 隆	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 常務理事
監事	藤橋 桂市	郡山市 産業観光部長
監事	霜鳥 勉	郡山商工会議所 開発事業部長

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 ボードメンバー

令和元年5月13日現在(順不同・敬称略)

竹谷 金浩	(株)NTT東日本 福島支店 郡山営業支店長
水上 哲夫	(株)ばすわーど 代表取締役
小林 秀明	(株)福島情報処理センター 郡山システム部 部長
二瓶 幸恵	(株)エフコム 執行役員兼サービスビジネス本部長
新藤 純也	(株)コンピューターシステムハウス マネージャー
和田 秀勝	Wiz 国際情報工科自動車中学校 学校長
大槻 努	作田電機(株) 代表取締役
吉田 尚央	プリマックス(株) 取締役
佐藤 賢二	エリア・マークス(株) 代表取締役
鈴木 朱美	福島リビング新聞社 編集制作本部 副本部長(統括編集長)
菅家 元志	(株)プレインペーション 代表取締役社長
廣田 進一	(株)東邦銀行 郡山営業部 上席副部長
渡辺 豊	郡山市 政策開発部 ソーシャルメディア推進課長
須田 勝浩	須賀川市 産業部 商工労働課長
小貫 秀明	鏡石町 総務課長

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構・事務局

平成31年 4月1日現在

常務理事	齋藤 隆	郡山商工会議所出向
事務局長兼事業部長	鈴木 秀明	郡山商工会議所出向
事務局次長兼総務部長	喜古 克広	福島県OB
企画管理課長	連沼 晴樹	郡山市派遣
技術振興課長	関根 隆仁	須賀川市派遣
管理員兼技術コーディネーター	佐藤 喜幸	
技術コーディネーター	池浦 清一	
技術コーディネーター	佐藤 正弘	
技術コーディネーター	吉田 裕二	インキュベーションマネージャー
技術コーディネーター	井上 明博	
技術コーディネーター	筋内 一男	
技術コーディネーター	永倉 文芳	
総務担当	鈴木 琴子	
情報化支援担当	久保田江美	

(郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会)

ACCESS

- 福島空港から郡山駅まで(シャトルバスで約35分)
- 郡山駅から南へ3km(車で約10分、バスで約20分)
- 東北自動車道・郡山南インターから東へ約6km(車で約10分)

お問い合わせ／ご相談はお気軽にご連絡ください

編集／発行 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会



〒963-0115 福島県郡山市南二丁目52番地 ビッグバレットふくしま3階
 TEL.024-947-4400/FAX.024-947-4475
 E-mail techno@nm.net6.or.jp URL http://www.techno-media.net6.or.jp/
 【Facebookページ】https://www.facebook.com/technoandnmc
 【メールマガジン登録】
<http://www.techno-media.net6.or.jp/magazine/index.php>



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙へリサイクル可。